## v6 プラスでのポート開放の手順

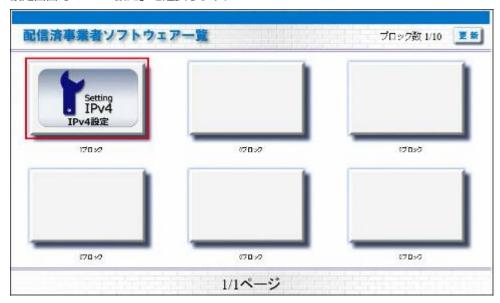
## 【注意事項】

ポート開放は不用意に行うと外部からのセキュリティ低下を引き起こす恐れがあります。充分な考慮の上、設定はお客様自身の責任にて実施いただきますようにお願いいたします。

ここでは例として NTT 東西のホームゲートウェイ PR-400 シリーズで設定する方法を説明します。

まずウェブブラウザで「<a href="http://ntt.setup:8888/t/">http://ntt.setup:8888/t/</a>」 または「<a href="http://192.168.1.1:8888/t/">http://192.168.1.1:8888/t/</a>」 にアクセスしてホームゲートウェイの IP アドレスを変更している場合は、**192.168.1.1** の部分を変更した IP アドレスに置き換えてください。)

設定画面で「IPv4 設定」を選択します。



画面右には **割り当てられた IPv4 グローバルアドレス** と **利用可能なポート番号の一覧** が表示されます。 開放するポートはこの一覧の中から選ぶ必要があります。

画面左のメニューから「静的 NAPT 設定」を選択します。



初回のみ、設定のためのユーザ名とパスワードを決めるように要求されます。 それぞれ任意のものを入力し、忘れないようにします。

新しいユーザ名	
新しいパスワード	
新しいパスワード(確認)	

ユーザ名とパスワードでログインすると現在設定されている内容が表示されます。

新しく設定するには未設定のエントリ番号(No.)を選択します。

IPv4設定	静的NAPT設定				
ソフトウェアバージョン					
1.2.0	No.	対象プロトコル	公開対象ボート	宛先アドレス	宛先ボート
<ul> <li>Top</li> <li>IPv4バケットフィルタ設定</li> <li>静的NAPT設定</li> <li>高度な設定</li> <li>ユーザ名/バスワードの変更</li> </ul>	1 2 3 4 5 6 7 8 9				

エントリ編集画面で設定する内容を入力します。

**対象プロトコル**は、TCP または UDP を指定します。

**公開対象ポート**は、前述の**利用可能なポート番号の一覧**の中から1つ選んで入力します。

宛先アドレスと宛先ポートは、外部に公開する機器の LAN 内でのローカルアドレスとポート番号を入力します。

入力したら**設定**ボタンを押して保存します。

IPv4設定	静的NAPT設定エントリ編集			
ソフトウェアバージョン				
1.2.0	エントリ番号	1		
<ul> <li>Top</li> <li>IPv4バケットフィルタ設定</li> <li>静的NAPT設定</li> <li>高度な設定</li> <li>ユーザ名バスワードの変更</li> </ul>	対象プロトコル	TCP VTCPまたはUDPを指定		
	公開対象ボート	利用可能なポート番号		
	宛先アドレス	公開する機器のローカルアドレス		
	宛先ボート	公開する機器のポート番号		
		設定 削除 キャンセル		
	3			

以上で設定は完了です。